



関中学校だより

第7号 令和2年12月25日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

冬の空に思うこと

校長 大澤 秀吉

2020年も過ぎようとしています。今年は、新型コロナウイルス感染防止対応の為に、今まで当たり前であったことが、行えなくなってしまった年となりましたが、そんな年でも多くの人たちが、今ある環境で出来ることを考え、工夫を凝らし最善を尽くし多くのことを行った年でした。

さて年末を迎え、凍て空にあるオリオン座の三つ星が目につくこの季節になると、自分が受験生として勉強していた時を思い出します。「こんなやり方で、大丈夫だろうか」「何で、こんな受験なんかあるんだ」「面倒だな、楽な方法ないかな」「もっと、良い問題集とかあるかも、別の問題集にしようかな」など様々なことを考えている生徒でした。一人で立ち向かうので、不安や焦りも重なり勉強は大変なのですが、この経験を通じて多くのことを学んできました。「楽な方法などはなく、自分で丁寧にコツコツやるしかないこと」「自分がやってきたことだけが自分の力になること」「一つ一つの積み重ねが、不安だけれども心の拠り所(自信)になること」「今の自分が出来る最大限の努力をするしかないこと」など、要するに「自分が行動しないと何も始まらない、何も得られない」「どうせやらなければならないのならば笑顔で楽しみながらやろう」ということが身につきます。世界中の人が、受験だけではなく仕事などを通じて同じようなことを身につけているのではないのでしょうか。

何故なら、新型コロナウイルスに対応して、世界中で多くの人々が自分の置かれた環境で、自分のため、家族のため、困っている人のためなど理由は様々ですが最大限の力を発揮して生きているからです。

関中生の皆さん、未来のことや解らないことを考えられる人間である以上、すべての人間が不安な気持ちを抱くものです。その不安にとらわれることなく、一つ一つ丁寧に積み上げていくように歩んでください。

さて、保護者の皆様・地域の皆様本当にお世話になりました。皆様のご理解・ご協力のもと何とか乗り越えることが出来ました。関中学校教職員を代表して御礼申し上げます。「ありがとうございました。良き年をお迎えください」

ウインドアンサンブル部、ダンス部、軽音楽部の発表会～保護者、関係者のみで実施～

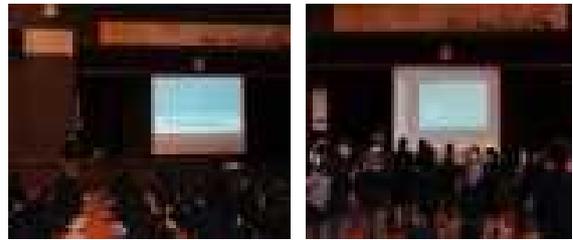
12月19日(土) 20日(日) 24日(木)
に3つの部活が夫々発表会を行いました。

安全性を高めるためにクラシック音楽公演における感染予防ガイドライン、舞台芸術公演におけるガイドラインなどを調べ上げ、無事行うことが出来ました。



1年 合同道徳

12月8日(火) 本校体育館において、1年生が「学校へのスマホの持ち込み」をテーマにして合同道徳を行いました。ルールの在り方や必要性について、自分の考え方、他者の考え方を知ることで、一つの事柄に対しても多くの意見があることを改めて実感し、一人一人違うことなど、多くのことを考えたようです。以下に生徒の意見の一部を掲載します。



*自分の事だけではなく、周りの事にも気を配って生活しようと思った。

*賛成や反対、良い点や悪い点がたくさんあるから難しい、だから話し合いが必要だ。

*たくさんの人の考えを聞いて、自分の考えが広がった、こういう時間は大事だと思った。

*今日の授業は、すごく悩まされました。

他学年での道徳でも、「命のつながり」や「座右の銘」について個々に考えた後、他者の考え方を知ることで自らの考えを広げより深めているようです。

2年学年行事 14祭(14 フェス)が終わって

2年生の作文を読んでいて、個々の生徒が多くのことを考え成長しているのを感じました。以下に抜粋・要約したものを紹介いたします。



*実行委員をしていて、ノリ気でない発言が多く、とても悔しかった。不安も出てきた。

「共がんばろう!」という友達の一言で考えが一気に変わった。ノリがないのなら、ノリ気にさせるように、さらになんばればばいい。…今までの嘘のように、みんなが本気になって取り組んでくれて、このクラスでよかったと実感した。

*先のことを考えるようになった。自分の意見を押し通すことよりも、周りの意見を聴くことの大切さを知りました。

*みんなで支え合って仕事をするのは、一人で仕事をするよりも、肉体的にも精神的にもずっと楽し、がんばろうという気になれた。協力することは大切だと思った。

*14祭なんていらない、コロナで大変だし、部活や塾やテストなどで忙しい時に準備を始めるんだと思っていた。企画した人たちには申し訳ないが、やりたくなかった。…本番は、あつという間だった。がんばったことには結果がついてくることを知った。14祭を通じて、やりたくないことにも一度は挑戦してみることの大切さを学んだ。つまらなそうと思っても、それは自分の勝手な偏見や先入観かもしれない。それを経験することで何かを得られるかもしれない。学べるかもしれない。今後は、いろいろなことに挑戦し自分の世界を広げたい。

関中生の活躍

令和2年度 ジュニアリーダー講習会修了者

3年 Hさん 1年 Kさん

東京都明るい選挙推進協議会より、関中学校が表彰されました。

PTAの方に飾っていただいたツリーの写真(左)です

